

「職業人生の仕上げ期における働き方に関する調査」(調査シリーズ No. 66) の Read me

本アーカイブデータについて、注意が必要な箇所を以下に示しました。

1. 変数「qD_2」(性別)は、調査対象者の選定の際に用いた情報です。調査票の設問には含まれていません。調査対象者の選定方法や回答者のプロフィールは、報告書 6~7 ページをご覧ください。
2. (1) 以下の調査票の設問は、正直に回答しているかどうかを見るために設けたものであり、データに含めていません。
 問 8c 定年退職後の職場で働く自分への評価「その頃の自分にはもの足りなさを感じる」
 問 11c 早期退職や移籍後、新しい職場で働く自分への評価
 「その頃の自分にはもの足りなさを感じる」
 (2) 以下の調査票の設問は、著作権者(調査シリーズ 88~89 ページを参照)の了解を得て使った選択肢の間であることから、データの公開は控えます。
 問 15 現在の自分に当てはまる気持ち
3. 報告書のクロス集計表について
 図表 3-2-1 希望した条件と実際の条件
 報告書 38 ページに掲載されている図表 3-2-1 の%は、無回答を含んだ 258 人を分母として計算しています。
4. 報告書集計表の誤植等について

(1) 図表 1-2-11 定年制の適用

報告書 13 ページに掲載されている図表 1-2-11 において、数値に誤りがあります。正しい数値は以下のとおりです(網掛け部分)。

	60~65 歳		66~69 歳		50~59 歳		計	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
あり	177	(54.8)	21	(25.6)	85	(87.6)	283	(56.4)
なし	146	(45.2)	61	(74.4)	12	(12.4)	219	(43.6)
計	323	(100.0)	82	(100.0)	97	(100.0)	502	(100.0)

(2) 図表 1-2-12 適用される定年の年齢

報告書 14 ページに掲載されている図表 1-2-12 において、数値に誤りがあります。正しい数値は以下のとおりです(網掛け部分)(合計欄以外は修正ありません)。

	合計	
	人数	%
55 歳	1	(0.4)
58 歳	1	(0.4)
60 歳	121	(44.0)
61 歳	1	(0.4)
62 歳	5	(1.8)
63 歳	13	(4.7)
64 歳	3	(1.1)

	合計	
	人数	%
65 歳	87	(31.6)
66 歳	2	(0.7)
67 歳	2	(0.7)
68 歳	4	(1.5)
70 歳	32	(11.6)
73 歳	2	(0.7)
75 歳	1	(0.4)
計	275	(100.0)

(3) 図表 1-3-9 毎月の収入(全体):手取り収入と各種年金を含めた収入

報告書 19 ページに掲載されている図表 1-3-9 において、数値に誤りがあります。正しい数値は以下のとおりです(網掛け部分)(「15 万円未満」「50 万円以上」以外は修正ありません)。

		年金収入ほかを含む毎月の収入				
		15万円未満		50万円以上		
		人数	%	人数	%	
毎月の手取収入	10万円未満	81	(40.3)	中略	2	(1.0)
	10万円以上20万円未満	28	(12.0)		5	(2.1)
	20万円以上30万円未満	0	(0.0)		4	(2.8)
	30万円以上40万円未満	0	(0.0)		12	(16.2)
	40万円以上50万円未満	0	(0.0)		31	(60.8)
	50万円以上	0	(0.0)		70	(100.0)
計		109	(14.1)	124	(16.1)	

(4) 図表 2-1-10 定年退職した時の年齢と定年後の勤務先

報告書 29 ページに掲載されている図表 2-1-10 において、数値に誤りがあります。正しい数値は以下のとおりです（網掛け部分）（66～69 歳のデータについては修正ありません）。

定年退職後の最初の異動先	定年退職したときの年齢								計			
	60～65 歳				50～59 歳				男性		女性	
	男性		女性		男性		女性		男性		女性	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
定年でやめた会社	116	(40.7)	7	(28.0)	8	(13.8)	3	(75.0)	124	(35.9)	10	(34.5)
定年前の会社の世話でいった別の会社	38	(13.3)	0	(0.0)	15	(25.9)	1	(25.0)	53	(15.4)	1	(3.4)
自分で探して採用された会社	95	(33.3)	14	(56.0)	23	(39.7)	0	(0.0)	120	(34.8)	14	(48.3)
起業した自分の会社	8	(2.8)	1	(4.0)	3	(5.2)	0	(0.0)	11	(3.2)	1	(3.4)
親族が経営する会社	2	(0.7)	0	(0.0)	3	(5.2)	0	(0.0)	5	(1.4)	0	(0.0)
その他	26	(9.1)	3	(12.0)	6	(10.3)	0	(0.0)	32	(9.3)	3	(10.3)
計	285	(100.0)	25	(100.0)	58	(100.0)	4	(100.0)	345	(100.0)	29	(100.0)

(5) 図表 2-1-11 定年退職した時の年齢と現在の就業形態

報告書 30 ページに掲載されている図表 2-1-11 において、数値に誤りがあります。正しい数値は以下のとおりです（網掛け部分）（66～69 歳のデータについては修正ありません）。

現在の就業形態	定年退職したときの年齢								計			
	60～65 歳				50～59 歳				男性		女性	
	男性		女性		男性		女性		男性		女性	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
正社員	33	(11.6)	1	(4.0)	15	(25.9)	0	(0.0)	49	(14.2)	1	(3.4)
契約社員・嘱託社員	133	(46.7)	2	(8.0)	18	(31.0)	1	(25.0)	152	(44.1)	3	(10.3)
パートタイマー	58	(20.4)	18	(72.0)	7	(12.1)	1	(25.0)	65	(18.8)	19	(65.5)
アルバイト	27	(9.5)	2	(8.0)	4	(6.9)	1	(25.0)	31	(9.0)	3	(10.3)
臨時雇用者	1	(0.4)	1	(4.0)	1	(1.7)	0	(0.0)	2	(0.6)	1	(3.4)
派遣労働者	6	(2.1)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	6	(1.7)	0	(0.0)
経営者・役員	14	(4.9)	1	(4.0)	7	(12.1)	0	(0.0)	21	(6.1)	1	(3.4)
自営業	4	(1.4)	0	(0.0)	3	(5.2)	1	(25.0)	7	(2.0)	1	(3.4)
その他	9	(3.2)	0	(0.0)	3	(5.2)	0	(0.0)	12	(3.5)	0	(0.0)
計	285	(100.0)	25	(100.0)	58	(100.0)	4	(100.0)	345	(100.0)	29	(100.0)

(6) 図表 4-2-1 仕事に関する行動変化の状況

報告書 47 ページに掲載されている図表 4-2-1 において、数値に誤りがあります。正しい数値は以下のとおりです（網掛け部分）（「行動にのみ変化があった者(B)」欄については修正ありません）。

行動変化の内容	考え方と行動に変化があったという者(A)		考え方の変化に関わらず行動に変化があったという者(A+B)	
	変化があった人数及びその割合		変化があった人数及びその割合	
	人数(A)	%(A/C)	人数(A+B)	%(A+B)/(C+D)
自分の業績をあまり気にしなくなった	49	(41.2)	70	(42.2)
以前よりも短期間で評価されることを前提に仕事をするようになった	6	(5.0)	10	(6.0)
いつでも誰かに仕事を引き継げるようにしておくようになった	34	(28.6)	44	(26.5)
以前よりも自由な発想で仕事をするようになった	38	(31.9)	47	(28.3)
以前よりも責任を感じないで気楽に仕事をするようになった	67	(56.3)	92	(55.4)
残業はしないようになった	49	(41.2)	67	(40.4)
勤務時間外の職場の人との付き合いはしなくなった	37	(31.1)	46	(27.7)
あまり多くの人と関係を持たずに仕事をすすめるようになった	42	(35.3)	51	(30.7)
開放された気分になって仕事を面白く感じるようになった	29	(24.4)	38	(22.9)
仕事に限定されたので働くことに安定感や安心感がある	31	(26.1)	44	(26.5)
会社全体の業績は以前よりも気にならなくなった	46	(38.7)	59	(35.5)
会社全体を以前よりも冷静に評価できるようになった	38	(31.9)	50	(30.1)
仕事に長期的な目標を立てなくなった	35	(29.4)	51	(30.7)
上司に気を遣わなくなった	37	(31.1)	48	(28.9)
同僚や後輩、部下に気を遣わなくなった	28	(23.5)	32	(19.3)
仕事以上に家庭生活や地域生活を大切にするようになった	47	(39.5)	60	(36.1)
後輩や下の部下への仕事上の助言や注意は、した方が良いときもしなくなった	15	(12.6)	19	(11.4)
重い責任を負うような仕事のしかたや進め方はしないようになった	24	(20.2)	32	(19.3)
会社の中でおきていることに余り関心をもたなくなった	28	(23.5)	39	(23.5)
新しい仕事は自分から作らないようになった	14	(11.8)	16	(9.6)
会社の CSR（社会的責任）や社会貢献をあまり気にしなくなった	10	(8.4)	12	(7.2)
働くことを通じて自分自身が社会貢献をしようとする意識が強くなった	33	(27.7)	38	(22.9)
与えられた仕事はするが、ほかのことはなるべく気にしないようになった	34	(28.6)	47	(28.3)
なにかにつけあまり頑張らなくなった	21	(17.6)	25	(15.1)
その他	6	(5.0)	9	(5.4)
計	119	(100.0)	166	(100.0)

中略